（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	たむら地方児童発達支援センター（児童発達支援）

公表日　令和　7年　3月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		定員10名としては設置基準より広いスペースですが、活動によりエリア分けするなどの工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員に保育士・看護師を配置する事で専門性のある支援が出来るよう努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		活動内容に合わせて、使用する部屋を分けて使用しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6		その日のお子さんの状況、支援中に気持ちが高ぶった時等、必要に応じて使用できる個室が何部屋もあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様にアンケートの配布を実施しています。直接貴重なご意見を聴く事が出来、事業所運営の参考にしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々の申し送りの際、支援の内容や対応方法についてお互いに意見を出し合っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		虐待関係・支援スキルアップ・アンガーマネジメントなど、年間計画に沿って、参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6			支援プログラム作成は以前からしており、毎年２月に来年度希望アンケートに掲載し保護者様に配布していました。事業所ホームページへの公表は、３月１日に予定しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画案を作成前に、他職員とお子さんの状況確認や目標と現状のすり合わせを行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		新しく来た職員にも共通理解が図れるよう、課題準備前に計画書の内容を一緒に確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		発達検査を実施した際には、事業所にも結果の提出をして頂いています。職員間で共有後に、事業所での行動記録とすり合わせ、お子さんの状況を確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		今年度から「本人支援」「家族支援」「移行支援」等、各項目に分けて計画書の作成を実施しています。	以前と計画内容の表示方法が変更になったことで、保護者様へご説明した後にあまり記憶に残らない様子が見受けられており、伝える際に工夫が必要だと感じました。今後改善していきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動内容は、他事業所や保育雑誌等から情報収集をしたり、お子さんから今の流行をリサーチし、子ども達の意見も参考にしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		支援前は当日朝・支援後は翌日の朝に行っています。対応に困り感があった際には、仮説と検証の時間を設け、より良い支援を提供できるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		幼稚園の先生や保健師さんと連携を取り、学校見学会のご案内をお渡しした事で、学校見学へと繋がりました。地域全体でお子様の育ちを見守っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6		田村地区で発達支援のスキルアップ研修や虐待防止の研修等を行い、支援の質の向上に努めています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		研修では、心理士や相談支援専門員、アンガーマネジメント協会など、各分野の専門の先生をお招きし、より良い支援へと繋がるようにしています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6			
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	夏のプール遊びでは、法人のプールを使用しています。そこには、他通所事業所のお子さんも一緒にプール遊びをしています。	地域の幼稚園・保育所を併用していることが多く、あえて場の設定はしていませんでした。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		言葉の発達・福祉サービスについて・発達について等、様々なテーマで保護者向け勉強会を行っています。勉強会の内容については、毎月配布する課題予定表に記載しております。	課題予定表に記載し周知をしていましたが、見落としてしまう事が多いのではないかと考察しました。今後は、研修会単体でご案内を配布し、改善を図ります。
個	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		子育ての悩みやご相談について、ご連絡を頂きましたら、面談日を設けて対応しておりました。	契約の際と、個別支援計画をご説明する際に、子育て等のお悩み相談についてお伝えしていましたが、周知が足りないと感じました。毎年、年度初めにも再度通知していきたいと思います。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	父母の会・保護者会はありませんが、保護者様同士が集まり、発達や福祉について学びながら意見交換をする「のびっこサロン」という場を、月1回程度提供しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		法人が定期的に発行する広報誌を年４回配布し、各事業所の記事で活動概要を発信しています。また、不定期ですが、HPで活動ブログを公開しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		今年度、第一言語が英語の保護者様がおりました。配布するお便りやモニタリング等を英語表記と日本語表記２パターンを作成し、配布いたしました。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		行事へ招待する事はありませんでしたが、地域の学生・教職員の見学実習の受け入れをしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎年４月に保護者様にマニュアルの配布をしています。	訓練実施についての周知が不足していると感じました。お便りの裏面等を活用し、分かりやすくお伝えしていきたいです。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		常用薬がある場合は、プロフィールへの記載と、お薬情報のコピーをご提出頂き、状況の確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		現在、該当者はいませんが必要性がある場合は対応していきます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。		6		３月にご家族連携型の訓練を予定しており、今後お便りを配布予定です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		発生時に全職員で内容確認と今後の対応について協議しています。また、新任職員配置の際には読み合わせをしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に１度、外部研修を実施しております。また、事業所内での内部研修も実施しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		現在該当者はいません。マニュアルは整備されているため、今後必要性がある場合は、対応していきます。	